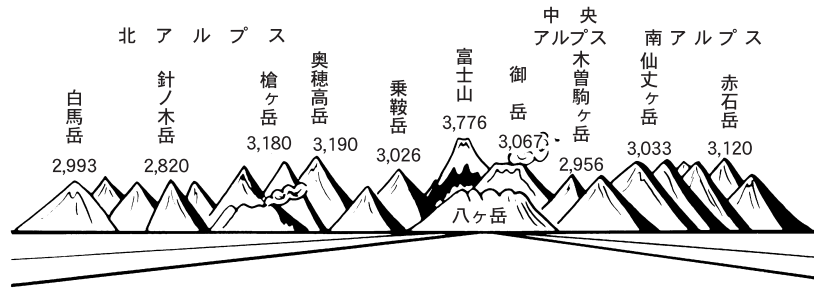


第 46 号

平成22年 5月



# 砂防ニュースロー"長野"



平成18年 7月豪雨災害 災害関連緊急砂防工事現場 4年目の春  
岡谷市 昆沙門沢

## 目 次

|                             |   |                           |     |
|-----------------------------|---|---------------------------|-----|
| 第4回砂防海外セミナー及び視察に参加して ……     | 2 | 平成21年度「土砂災害防止に関する作文、ポスター」 |     |
| 合併に伴う退任の挨拶                  |   | 砂防部長賞受賞 ……                | 7   |
| 旧波田町長、旧信州新町長 ……             | 3 | 県内の土砂災害警戒区域等の指定状況 ……      | 8、9 |
| 旧中条村長 ……                    | 4 | 災害時要援護者をまもる砂防事業について ……    | 10  |
| (社)全国治水砂防促進大会開催・要望活動 ……     | 4 | 長野県雨量等防災情報提供システムについて ……   | 11  |
| (社)地すべり学会中部支部シンポジウム開催される …… | 5 | 平成22年度砂防課人事異動について ……      | 12  |
| 平成22年度砂防関係予算 ……             | 5 | 長野県治水砂防協会行事等経過・予定 ……      | 12  |
| 技術研修会開催 ……                  | 6 |                           |     |

## 「第4回砂防海外セミナー及び視察」に参加して

旧信州新町長 中村 靖

(社)全国治水砂防協会主催の砂防海外セミナーが、昨年10月18日～10月24日の日程で、明治時代日本の砂防に様々な影響を与えたオーストリアにおいて開催され、オーストリア中西部、欧州アルプスの一角に位置するザルツブルグ・インスブルック両州周辺の、代表的な砂防事業実施箇所を視察するとともに、2箇所でのセミナーを通じ、現地の砂防関係者との交流を深めてまいりました。

10月19日第1回セミナーがグムンデンに於いて開催され、農林環境省オーバーエスライヒ地方砂防局長から、オーストリアの砂防の歴史について説明をいただき、私から参加者15名を代表して協会の活動内容や、県内の砂防事業等を含め挨拶を行いました。午後は「グシュリーフ地すべり」について説明と現地視察が行われ、説明によると17世紀以降大規模な地すべりが概ね百年に一度発生し、現在も不安定な状態が続いている地すべりブロックの長さは約3km、標高差350mで、2007年12月の地すべりでは、末端部が一週間で8m隆起し湖岸道路を乗り越え、湖の中まで達したそうです。応急工事として道路・水路の復旧工事や水抜きボーリング等様々な対策とあわせ、GPS測量や傾斜計測などが続けられており、本格的な地すべり対策工事はこれからとの事でありました。

20日はミュールバッハ溪谷（ザルツブルグ州、プラムベルグ近郊）のザルツアッハ川支流で、合流点付近に広がる耕地を保全対象に進められている洪水・土石流対策を視察しました。本川での透過型砂防ダムや流路工と支川での床固工を実施中で、土石流・流木対策等の砂防事業に対する住民の意識も高く、事業に対しても協力的との事でした。当地域もハード対策と併せてソフト対策として、ハザードマップが作成されており、レッド・イエローのゾーニングがなされておりました。レッドゾーンでの新築は一切認められず、イエローゾーンでは、町の求める対策を講じた建物のみ建築が許可されるとの事でした。その後デュルンバッハ溪谷（ザルツブルク州ノイキルヒェン）の土石流対策を視察、ミュールバッハの西方に位置し砂防の歴史は古く、125年前から実施されているとの説明でありました。46基の砂防堰堤を整備したが（写真1）、既設堰堤が軸部側方からの土圧により損壊するなど、機能低下したことにより、補修可能な堰堤の改修と15基の堰堤の新設による土



(写真1)

石流対策に取り組んでいるほか、流路の安定化を図るため下流の溪流保全工を実施中との事でありました。

21日はイシュグル・ガルテュア両町（チロル州、イン川上流）の雪崩対策とフィーシュバッハ溪谷（チロル州、レンゲンフェルト近郊）の土石流対策を視察、イシュグル・ガルテュアともに標高1000mを越す高地でスキーなどチロル州を代表する観光都市であり、地域住民の安全確保と、観光客に安心して訪れてもらうため雪崩対策として上部の雪崩防止柵の整備（写真2）、下部の植林、斜面途中には雪崩の流れを導く導流堤や衝撃を緩和するマウンドの設置が進められていました。フィーシュバッハ溪谷は年間約70万人が訪れる観光地で、砂防の歴史も古く1920年代に砂防堰堤が整備されたのが始まりで、1917年大規模な土砂災害があったことから、1924～28年に当時の帝国砂防局により堰堤が造られ、本堤は空石積みから、1990年代に入って練石積みとされ、現在鋼製となっているスリットも建設当時は木製であったそうです。

22日インスブルックに於いて第2回セミナーと市街地北部ノルドケッテの雪崩対策を視察し、セミナーではチロル地方砂防局長よりチロル地方の土砂災害及び雪崩災害とその対応策について、ハード・ソフト両面から、森林研究所の担当者から研究所の組織と業務内容についての説明をいただきました。

今回のセミナーを通じ、土木技術だけでなく、森林施業と土地利用計画を有効的に組合せた防災対策が、オーストリア砂防の根底をなすものと感じた次第であります。

結びに、ハードな日程ではありましたが、オーストリア関係行政機関の説明や現場の視察を通して、多くの現場担当者や研究者からの発表、現地でも事務所の所長や町長等、行政の責任者より説明をいただくなど貴重な体験を積み重ねることが出来ましたことを、関係の皆様にも厚く御礼を申し上げます。



(写真2)

## 「合併に伴う退任にあたって」

### 旧波田町長 太田 典男



波田町は、平成22年3月31日をもって、136年に亘る歴史の幕を閉じ、松本市と合併し、新たなスタートを切りました。波田町は、明治7年、上波多村・下波多村・三溝村が合併して、人口3千3百人余の波多村として誕生しました。以来、恵まれた自然を大切に、進取の気性に富んだ町民性や文化を培いながら、

136年の歴史を刻んでまいりました。波田町という名前が消えることは、寂しいことではありますが、地方分権社会の到来を見通す中で、波田地域を守り、持続的に住民福祉を向上させるためには、松本市の一員となることが最善の道であると判断を致しました。この度、

町を閉じるのは終わりではありません。新たなまちづくりの始まりです。

これからは、松本市の一員としてこれまで、育んでまいりました自主・自立・協働の精神を大切に、自信と矜持を持って、波田町が今まで築いてきた歴史と伝統文化そして豊かな自然の地域資源を大切に活かして一体感を更に高め、活力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

北アルプスの麓に位置する波田町は、総面積の72%を山林が占め、急峻な地が多く何度も自然災害に遭っております。

近年、関係各位のご尽力をいただき砂防堰堤など施設整備が整えられてきていることは、ありがたい限りでございます。関係者の皆様には心から感謝申し上げます。今後とも、新松本市並びに波田地域住民が、安心して暮らせるよう治水砂防事業の一層の推進を念願し、長野県治水砂防協会の益々のご発展と会員各位のご健勝をご祈念申し上げ、退任の挨拶とします。

(平成22年3月31日 松本市と合併)

### 旧信州新町長 中村 靖



平成22年1月1日、新「長野市」の誕生とともに、自治体名としての、ふるさと「信州新町」は、55年余りの時を刻んでまいりました歴史の幕を閉じました。

旧町発足当時も、町村合併の意義は、財政的に豊かな町村をつくり、さらに発展させることにあったと思いますが、信州新町の誕生に厳しい痛み

を伴ったことなど、先輩各位から伺っております。私も、誇れる「信州新町」は先人皆様の汗と涙、たゆまぬ努力の賜と、常々肝に銘じ執務に当たって参りましたので、感慨ひとしおのものがございます。改めて先人皆様の功労を讃えるとともに、長野市の皆様と心一つにして、更なる長野市の発展に向かって躍進を期するものです。私は、市町村合併について、それが有効な地域もあるものの、必ずしも良いことばかりではないと案じてきました。ですから、全国一律、画一的に合併に導くような国の施策には、当初否定的でありましたが、少子高齢化の進行をはじめ、社会経済情勢の変化とともに、市町村行政を取り巻く状況も年々変化し、長い間続いてきた行政システムも将来のために、国・地方、例外なく大きく見直さなければならない激動の時代に直面し、地方分権時代にふさわしい行政運営を確立すべく、長

野市との合併という道を選択するに至りました。

言うまでもなく、町民の皆様と信州新町地域の更なる発展を切に願っての選択でした。

旧信州新町は、古くから、山紫水明の犀峡の地を愛する、多くの芸術家が訪れ、芸術を愛する町民との深い交流を通じて、信州新町美術館・有島生馬記念館に象徴されるような、芸術文化の町づくりを推し進めて参りました。

今後は、私たちの新しい「ふるさと」として、多くの皆様がこの地に足を運んで頂き、愛される地域となれば幸いです。

さて、当地域は傾斜が多く、地質が脆弱で、土石流危険渓流や地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所が多数存在しており、県下でも有数の地すべり地帯となっています。幾多の被害や土砂災害に見舞われましたが、砂防堰堤をはじめ地すべり対策事業等、砂防関係施設の充実により災害を克服してまいりました。

これもひとえに国・県及び当協会の関係皆様のご指導ご支援の賜であり敬意と感謝を申し上げます。

近年、各地で見られる局地的な集中豪雨をはじめ、地震による土砂災害等、多岐に亘る災害が発生しており、特に夜間や深夜の災害を報道で知るにつけ、その恐ろしさは想像を絶するものがあります。自然災害の恐ろしさを認識しながらも未然に防止する対策と災害に強い町づくりを目指し、砂防・治水のハード・ソフト両面で災害予防の取り組みを今後も強力に推進されますことを期待してやみません。

(平成22年1月1日 長野市と合併)

## 旧中条村長 久保田 元 夫



昭和30年2月に、栄村と日里村が昭和の大合併をしてから半世紀が過ぎて、中条村は、平成22年1月1日に長野市と合併をいたしました。激動の時代を村民の弛みない努力と英知の結集によって、明るく豊かな郷土の建設に邁進でき

たことは、村民の財産であり誇りであります。

弘化4年（1847年）5月に発生した善光寺地震は飯山市から中野市、長野市、千曲市、池田町までの広範囲にわたり、死者1万数千人と大きな被害を及ぼしました。当時の震源地を正確に察知することはできませんが、災害の規模から虫倉山系と推察されています。マグニチュード7.4の地震は虫倉山南側丘陵地帯で東西約4kmにわたり大規模な地すべり性崩壊を発生させ、2箇所の集落においては、そのすべてを埋没させるなど、中条地域での犠牲者は300人近くにのぼりました。こ

の地震は、これ以降の時代での豪雨や融雪時に多発する大規模な地すべりや土石流に影響を与えたことは容易に想像できます。

加えて第3期層の脆弱な地質の代表的な地域であり、そのため昭和21年の集中豪雨には日下野地籍で家屋2棟が流失し4人の犠牲者を出し、昭和28年には月夜棚地籍で大規模な地すべりが発生するなど、集中豪雨・長梅雨や融雪のたびに土砂災害が数多く発生してまいりました。これらの復興や磐石な地盤構築のために、砂防事業には、大きな力添えをいただきました。地域住民が安心して生活を送れる地域であることに感謝を申し上げます。

中条村はこのたび長野市に合併しましたが、虫倉山に抱かれた豊かな自然と先人から受け継がれた伝統を次の世代に引き継ぎ、長野市の中の中条地域として更に発展することを願うものであります。

県議時代から併せて十数年間にわたる長き間お世話になりました、多くの関係者の皆様に心から感謝とお礼を申し上げ退任の挨拶といたします。

（平成22年1月1日 長野市と合併）

## (社)全国治水砂防促進大会開催



平成21年11月17日、砂防会館別館において全国治水砂防促進大会が開催され、全国から会員等約960名の出席がありました。

本県からは、佐々木会長をはじめ47都道府県で最も多い78名の会員・関係者が参加しました。

大会前に、特別講演として、「噴火・水害・水需要を考える」と題して講演がありました。特別講演終了後、綿貫会長が挨拶され、亀江務理事より今年の災害状況及び来年度の予算について説明の後、福岡県篠栗町長、富山県立山町長より意見発表がありました。

また、長崎副会長から「土砂災害防止施設の整備」、「システム整備・緊急時の支援体制」の提言を決議し、満場一致で決議されました。

大会終了後、佐々木会長はじめ役員、関係者により砂防事業の促進と安全で安心な県土づくりに向けて、ハード・ソフト対策による減災対策の実現を、国土交通省、県選出国會議員に要望しました。

今回も大勢の会員さん、関係者の皆さんにはお忙しい中、参加いただきまして、この場をお借りして御礼申し上げます。

## 地すべり学会シンポジウム開催される

平成21年11月10日から11日にかけて日本地すべり学会中部支部主催の「土砂災害防止と災害教育」と題したシンポジウムが伊那市生涯学習センター（いなっせ）で開催され、約200人が参加しました。

伊那小学校の5年森組の皆さんが、昔の人は護岸を築造して暴れ天竜が田畑を守ったことや、治水・利水の大切さを認識したことを、6年秋組の皆さんは、縄文、江戸時代にタイムスリップした想定で、天竜川の洪水から身を守るための人々の生活や、水争いで地域が対立した歴史をそれぞれ熱のこもった劇で発表しました。

また、基調講演は、笹本正治信州大学副学長からの「災害伝承と水文化」と題した天竜川上流域での災害伝承について話されました。

「伝承の中には災害について警告するものがあり、江戸時代に大雨により土石流が発生したことを伝える文書が残っている」、「地元の伝承は、防災につながる大切な資源であり、掘り起こして活用していくべき」、「安全だと思わずに災害に備えることが大切」とお話しいただきました。

このシンポジウム参加者の感想には、「防災教育は拡げていったほうがいい。」「危険を感じたらとにかく逃げるのが大切である。」と寄せられた、地域の皆さんに土砂災害等に関する知識や備えについて、とにかく知っていただくような場を設け、多くの方に参加いただくことの大切さを、改めて認識する機会となりました。



## 平成22年度 砂 防 関 係 予 算

平成22年度の本県砂防関係事業の当初予算は、補助公共事業費が94億円強で対前年比0.95、県単独公共事業が5億円強で前年比1.00となっており、災害関連事業を加えた全体事業費は約110億円強、対前年比0.99となっています。

### 平成22年度砂防関係予算

(単位：千円)

| 事業名          | 平成22年度 当初県予算(A) | 平成21年度 当初県予算(B) | 対前年 当初比(A)/(B) |
|--------------|-----------------|-----------------|----------------|
| ●砂防総務費       | 388,408         | 393,779         | 0.986          |
| ●補助公共事業      |                 |                 |                |
| □砂防費         | 5,738,000       | 6,203,000       | 0.925          |
| □地すべり対策費     | 2,120,000       | 2,110,000       | 1.004          |
| □急傾斜地崩壊対策費   | 1,596,000       | 1,595,527       | 1.002          |
| 小 計          | 9,454,000       | 9,908,527       | 0.954          |
| ●災害関連緊急砂防等事業 |                 |                 |                |
| □砂防費         | 240,000         | 72,000          | 3.333          |
| □地すべり対策費     | 306,000         | 120,000         | 2.55           |
| □急傾斜地崩壊対策費   | 94,000          | 24,000          | 3.916          |
| 小 計          | 640,000         | 216,000         | 2.962          |
| ●県単独公共事業費    |                 |                 |                |
| □砂防費         | 268,470         | 274,468         | 0.978          |
| □地すべり対策費     | 93,600          | 93,593          | 1.057          |
| □急傾斜地崩壊対策費   | 145,750         | 137,850         | 1.000          |
| 小 計          | 507,820         | 505,911         | 1.003          |
| ●砂防受託費       | 40,000          | 30,000          | 1.333          |
| 計            | 11,030,228      | 11,054,217      | 0.997          |

# 技術研修会開催

長野県土尻川治水砂防協会

土尻川治水砂防協会（会長 牛越徹大町市長）の主催事業として2月26日、技術研修会を土尻川砂防事務所で開催しました。

研修会は、管内2市1村（長野市、大町市、小川村）の治水、砂防関係職員等の技術力や災害緊急時の対応能力の向上を図ることを目的とし、30人余りの皆様が参加されました。

冒頭の倉島明一協会参与（土尻川砂防事務所長）のあいさつに続いて、同砂防事務所 矢澤祥道主任から「法面对策について」、百瀬光広主査から「設計検討（設計VE）について」、市岡進砂防課長から「土尻川砂防事務所管内地名考」、県建設部砂防課井原一馬主任からは「里山砂防の進め方」についての講義がありました。

裸地法面の風化・浸食を植物で防止するための緑化工法、固定概念や慣習を打ち破り問題を解決する手法（＝Value Engineering 価値工学）、管内の地名が地形や地すべりなどに由来し名付けられていること、また中山間地の活性化策も取り込む砂防事業の新たな展開など広範多岐な内容となりました。



続いて、長野市総務部松坂明危機管理防災監から「長野市の危機管理及び七久保の事例」と題して、昨年の7月末から8月初旬にかけて、集中豪雨で被災した長野市戸隠地域における取組を中心とした話をお聞きしました。災害直後の対策、住民の避難態勢の事例や、防災に努力していく姿勢や心構えなど誰もが直面した際には迅速な対応、判断を迫られるだけに、参加者は熱心に聞き入っていました。

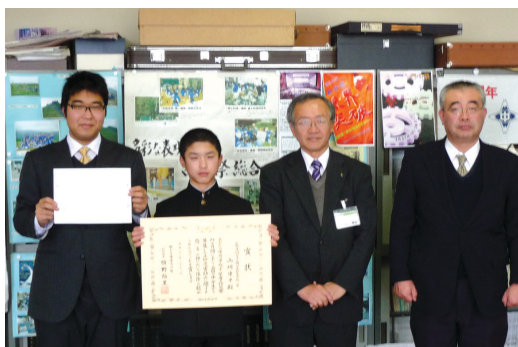
土尻川支部がある土尻川砂防事務所の管内は、大半が急峻な地形の山間地であり、県内でも有数の地すべり地帯で、土砂災害の危険箇所を多くかかえています。土尻川支部ではこうした研修会や懇談会を通して、地域の皆様の防災意識の一層の高揚を図り、砂防事業の推進、普及発展に向け努めていくこととしています。



土尻川砂防事務所

## 「土砂災害防止に関する絵画、ポスター、作文」砂防部長賞受賞

### 作文(中学生)の部 受賞作品



### 『土砂災害のおそろしさ』

岡谷西部中学校 2年 山崎 康平さん

今年の7、8月、九州や中国地方でたくさんの雨が降り、土砂災害が起きて何人もの方がなくなりました。その土砂災害の種類の中に土石流というものがあります。

僕の住む岡谷も3年前に土石流が起きました。僕は朝起きたら、連日降り続いた雨で土石流が起きたというニュースを見てびっくりしました。そして家の横の川もすごい勢いで流れていたの、ここも土石流が起くるのではないかと不安になりました。そのうちに僕の住んでいる地区にも避難勧告が出されたので、避難の準備をしました。

でも、雨はやんで、避難勧告も解じょされました。

雨がやんだので、家の裏に流れてきていた土砂をお父さんといっしょに片づけました。

こんなに重い土砂を運んでくるなんて水はすごいなあと、水のすごさを実感しました。ですが、僕の家より、家の周りの方が被害が大きくて、道路が水の力によって押し上げられて、とても車が通れる道路ではなくなっていたり、川の水があふれて、家の中まで入ってしまっている家や、雨でくずれてしまっている田んぼなどもあり、たくさんの被害がでていました。

そこで、家の片づけが終わったら、他の被害にあった場所の片づけのお手伝いへ行きました。

お手伝いへ行った場所は、川があふれて道路に流れ出て、道路に土砂がたまっていました。

僕はスコップでたまった土砂をどかす作業をしました。どかした土砂の量を見て水の力はおそろしいなと思いました。

土石流のニュースを見て、どうしたら土石流を防ぐことができるのかと疑問に思った僕は、学校の授業で実際に土石流の現場に行きました。

行ってみると、土石流の発生場所はかなり山の上でした。山の上から下まですごい勢いだったのだらうと思いました。

発生場所には砂防えん堤が造られていて、もう二度と土石流が起こらないように何重にもなっていました。今回の土石流が流れた道にも何個か砂防ダムが造られていて、もし土石流がもう一度同じ場所を流れても、そこで止まるようになっていて、あいている穴から土石流の水だけが流れるような工夫がしてありました。

砂防ダムは予想以上に大きく、4、5ヶ所ほど穴があいていて、土砂や土石流によって倒された木などはコンクリートにぶつかって止まり、水だけが穴から外に出るとい、外観からはわからない優れた機能を持つダムなのです。

このようなダムがあれば、土石流は絶対に防ぐことができます。

しかし、起こってしまった事は人々の記憶から消えることはありません。今でも強い雨が連続して降ると「また土石流が起こらないかなあ」と不安になります。もう二度と土砂災害が起こらない安全な町へとこの土石流を生かして欲しいと思います。

### ポスター(小学生)の部 受賞作品



中島 茜さん  
(南牧村立南牧北小学校 5年)

# 県内の土砂災害警戒区域等の指定状況

(平成22年4月1日現在)

| 事務所名     | 市 町 村 名     | 土 石 流   |        | 地 滑 り |        | 急傾斜地の崩壊 |             | 告示年月日           |                 |
|----------|-------------|---------|--------|-------|--------|---------|-------------|-----------------|-----------------|
|          |             | 警戒区域    | 特別警戒区域 | 警戒区域  | 特別警戒区域 | 警戒区域    | 特別警戒区域      |                 |                 |
| 佐 久      | 小諸市         | 8箇所     | 3箇所    |       |        |         |             | 平成19年 9月27日     |                 |
|          | 佐久市         | 38箇所    | 33箇所   |       |        | 15箇所    | 13箇所        | 平成20年 3月31日     |                 |
|          | 佐久市(白田・望月)  | 206箇所   | 185箇所  |       |        | 167箇所   | 151箇所       | 平成19年 1月29日     |                 |
|          | 南佐久郡小海町     | 63箇所    | 54箇所   |       |        | 173箇所   | 150箇所       | 平成19年 9月27日     |                 |
|          | 南佐久郡佐久穂町    | 96箇所    | 81箇所   |       |        | 161箇所   | 156箇所       | 平成20年 3月31日     |                 |
|          | 南佐久郡川上村     | 20箇所    | 16箇所   |       |        | 24箇所    | 24箇所        | 平成21年 3月26日     |                 |
| 上 田      | 上田市         | 152箇所   | 146箇所  |       |        | 269箇所   | 237箇所       | 平成21年 3月16日     |                 |
|          | 上田市(丸子)     | 88箇所    | 84箇所   |       |        | 68箇所    | 64箇所        | 平成18年 6月12日     |                 |
|          | 上田市(真田)     | 98箇所    | 87箇所   |       |        | 104箇所   | 101箇所       | 平成22年 3月29日     |                 |
|          | 東御市         | 39箇所    | 35箇所   |       |        | 154箇所   | 126箇所       | 平成19年 9月27日     |                 |
| 諏 訪      | 岡谷市         | 110箇所   | 76箇所   |       |        | 369箇所   | 341箇所       | 平成20年 3月24日     |                 |
|          |             |         | -1箇所   |       |        |         |             | 平成21年 3月26日 ※16 |                 |
|          |             |         |        |       |        |         |             | 平成22年 3月29日     |                 |
|          | 諏訪市         | 90箇所    | 86箇所   |       |        | 164箇所   | 149箇所       | 平成18年 3月30日 ※1  |                 |
|          | 茅野市         | 42箇所    | 31箇所   |       |        | 44箇所    | 42箇所        | 平成21年 3月30日 ※20 |                 |
|          | 下諏訪町        | 47箇所    | 42箇所   |       |        | 102箇所   | 95箇所        | 平成22年 2月25日 ※22 |                 |
| 伊 那      | 下諏訪町        | 14箇所    | 12箇所   |       |        | 38箇所    | 28箇所        | 平成22年 3月25日 ※23 |                 |
|          | 伊那市(西箕輪)    | 27箇所    | 26箇所   |       |        |         |             | 平成18年 9月25日 ※2  |                 |
|          | 駒ヶ根市        | 15箇所    | 8箇所    |       |        | 22箇所    | 17箇所        | 平成21年 3月30日 ※21 |                 |
|          |             | 4箇所     |        |       |        | 9箇所     | 9箇所         | 平成22年 3月11日     |                 |
|          | 上伊那郡辰野町     | 86箇所    | 76箇所   |       |        | 115箇所   | 111箇所       | 平成20年 3月27日     |                 |
|          |             | 57箇所    | 50箇所   |       |        | 125箇所   | 114箇所       | 平成20年 9月29日 ※13 |                 |
|          | 上伊那郡南箕輪村    | 6箇所     | 5箇所    |       |        |         |             | 平成17年 8月11日 ※3  |                 |
| 飯 田      |             | 4箇所     |        |       |        | 57箇所    | 46箇所        | 平成19年 9月27日     |                 |
|          | 上伊那郡飯島町     | 22箇所    | 15箇所   |       |        |         |             | 平成17年12月26日     |                 |
|          |             | 10箇所    | 7箇所    |       |        | 52箇所    | 46箇所        | 平成19年 3月29日 ※4  |                 |
|          | 飯田市         | 24箇所    | 10箇所   |       |        | 141箇所   | 111箇所       | 平成20年 3月31日 ※11 |                 |
|          |             | 24箇所    | 11箇所   |       |        | 186箇所   | 149箇所       | 平成21年 3月30日     |                 |
|          | 飯田市(上村・南信濃) | 43箇所    | 28箇所   |       |        | 239箇所   | 202箇所       | 平成22年 3月29日     |                 |
|          | 下伊那郡松川町     | 50箇所    | 30箇所   | 85箇所  |        |         |             | 平成19年12月27日     |                 |
|          | 下伊那郡高森町     | 41箇所    | 27箇所   |       |        | 397箇所   | 259箇所       | 平成21年 3月30日     |                 |
|          |             | 26箇所    | 19箇所   |       |        | 115箇所   | 112箇所       | 平成19年 1月18日     |                 |
|          | 下伊那郡天龍村     |         |        | 27箇所  |        |         |             | 平成22年 3月25日     |                 |
| 下伊那郡天龍村  | 35箇所        | 28箇所    | 78箇所   |       |        |         | 平成20年 1月31日 |                 |                 |
| 下伊那郡泰阜村  | 22箇所        | 18箇所    |        |       |        |         | 平成17年 3月31日 |                 |                 |
| 木 曾      | 下伊那郡喬木村     |         |        |       |        | 103箇所   | 90箇所        | 平成18年 3月30日     |                 |
|          | 下伊那郡喬木村     | 41箇所    | 21箇所   |       |        | 182箇所   | 161箇所       | 平成18年 1月30日     |                 |
|          | 下伊那郡大鹿村     | 39箇所    | 27箇所   |       |        | 246箇所   | 223箇所       | 平成20年 3月27日     |                 |
|          | 木曾郡上松町      | 91箇所    | 84箇所   |       |        | 109箇所   | 103箇所       | 平成18年11月16日     |                 |
|          | 木曾郡南木曾町     | 154箇所   | 124箇所  |       |        | 319箇所   | 189箇所       | 平成21年 3月16日     |                 |
| 松 本      | 木曾郡木曾町(日義)  | 20箇所    | 20箇所   |       |        | 44箇所    | 37箇所        | 平成22年 3月 4日     |                 |
|          | 木曾郡大桑村      | 81箇所    | 67箇所   |       |        | 133箇所   | 111箇所       | 平成19年 9月18日     |                 |
|          | 松本市         |         | 23箇所   | 22箇所  |        |         | 110箇所       | 109箇所           | 平成19年 3月29日     |
|          |             |         | 42箇所   | 33箇所  |        |         | 110箇所       | 103箇所           | 平成20年 1月31日 ※8  |
|          |             |         | 13箇所   | 13箇所  |        |         | 45箇所        | 44箇所            | 平成20年 3月31日     |
|          |             |         | 36箇所   | 32箇所  |        |         | 143箇所       | 136箇所           | 平成20年 8月14日 ※12 |
|          | 塩尻市         |         | 67箇所   | 57箇所  |        |         | 154箇所       | 145箇所           | 平成19年 9月27日     |
|          |             |         | 36箇所   | 29箇所  |        |         | 89箇所        | 76箇所            | 平成19年12月27日     |
|          |             |         | 2箇所    | 2箇所   |        |         |             |                 | 平成20年 3月27日 ※9  |
|          |             |         | 29箇所   | 16箇所  |        |         | 58箇所        | 48箇所            | 平成22年 1月28日     |
|          | 安曇野         | 東筑摩郡山形村 | 24箇所   | 22箇所  |        |         | 57箇所        | 57箇所            | 平成18年 6月29日     |
|          |             | 東筑摩郡朝日村 | 31箇所   | 27箇所  |        |         | 48箇所        | 48箇所            | 平成17年12月26日     |
| 安曇野市(豊科) |             | 12箇所    | 11箇所   |       |        | 67箇所    | 64箇所        | 平成18年 6月29日     |                 |
|          |             | 3箇所     | 3箇所    |       |        | 5箇所     | 5箇所         | 平成20年 8月14日     |                 |
| 大 町      | 安曇野市(穂高)    | 28箇所    | 26箇所   |       |        |         |             | 平成19年 3月29日     |                 |
|          |             |         |        |       |        | 63箇所    | 60箇所        | 平成21年 3月26日     |                 |
|          | 安曇野市(堀金)    | 11箇所    | 10箇所   |       |        | 15箇所    | 13箇所        | 平成19年 4月23日     |                 |
|          | 安曇野市(三郷)    | 17箇所    | 15箇所   |       |        | 32箇所    | 32箇所        | 平成20年 3月27日     |                 |
| 大 町      | 大町市         | 142箇所   | 136箇所  |       |        | 182箇所   | 179箇所       | 平成18年 3月30日     |                 |
|          |             | 1箇所     |        |       |        |         |             | 平成22年 3月29日     |                 |



(平成22年4月1日現在)

| 事務所名      | 市 町 村 名       | 土 石 流    |         | 地 滑 り      |        | 急傾斜地の崩壊 |             | 告 示 年 月 日   |     |
|-----------|---------------|----------|---------|------------|--------|---------|-------------|-------------|-----|
|           |               | 警戒区域     | 特別警戒区域  | 警戒区域       | 特別警戒区域 | 警戒区域    | 特別警戒区域      |             |     |
| 大 町       | 北安曇郡松川村       | 10箇所     | 8箇所     |            |        | 6箇所     | 6箇所         | 平成21年 3月26日 | ※17 |
|           | 千曲市 (上山田)     | 15箇所     | 9箇所     |            |        | 28箇所    | 22箇所        | 平成19年 5月10日 |     |
| 千 曲       | 千曲市 (戸倉・更埴)   | 70箇所     | 56箇所    |            |        | 105箇所   | 102箇所       | 平成20年 3月27日 |     |
|           | 須坂市           | 57箇所     | 55箇所    |            |        | 83箇所    | 69箇所        | 平成21年 3月30日 |     |
|           | 上高井郡小布施町      | 6箇所      | 6箇所     |            |        |         |             | 平成18年 3月13日 |     |
| 須 坂       | 上高井郡高山村       | 22箇所     | 21箇所    |            |        | 102箇所   | 54箇所        | 平成19年 3月19日 |     |
|           |               |          |         | 17箇所       |        |         |             | 平成20年 3月31日 |     |
| 長 野       | 長野市 (安茂里)     | 16箇所     | 12箇所    |            |        | 59箇所    | 44箇所        | 平成19年 3月15日 |     |
|           | 長野市 (若穂・松代)   | 106箇所    | 93箇所    |            |        | 133箇所   | 125箇所       | 平成20年 3月31日 |     |
|           | 長野市 (篠ノ井)     |          |         |            |        | 2箇所     | 2箇所         | 平成20年12月25日 | ※15 |
|           | 長野市 (若槻)      | 9箇所      | 8箇所     |            |        | 7箇所     | 5箇所         | 平成21年 2月12日 |     |
|           | 長野市 (第一・第二地区) | 7箇所      | 7箇所     |            |        | 48箇所    | 41箇所        | 平成21年 3月26日 |     |
|           | 長野市 (浅川)      | 8箇所      | 3箇所     |            |        | 45箇所    | 36箇所        | 平成21年11月30日 |     |
|           | 埴科郡坂城町        | 25箇所     | 20箇所    |            |        | 25箇所    | 14箇所        | 平成22年 3月29日 |     |
| 上水内郡飯綱町   | 15箇所          | 10箇所     |         |            | 21箇所   | 17箇所    | 平成19年 3月 8日 | ※5          |     |
|           | 33箇所          | 30箇所     | 25箇所    |            | 73箇所   | 72箇所    | 平成20年 1月21日 |             |     |
| 北 信       | 中野市           | 33箇所     | 31箇所    |            |        | 45箇所    | 45箇所        | 平成18年12月28日 |     |
|           |               | 19箇所     | 19箇所    |            |        | 64箇所    | 58箇所        | 平成21年 3月30日 |     |
|           | 中野市 (豊田)      | 21箇所     | 17箇所    |            |        | 72箇所    | 57箇所        | 平成19年10月29日 |     |
|           |               | 29箇所     | 25箇所    |            |        | 80箇所    | 74箇所        | 平成20年 3月31日 | ※10 |
|           | 飯山市           | 139箇所    | 114箇所   | 4箇所        |        | 66箇所    | 65箇所        | 平成21年 3月26日 | ※18 |
|           | 下高井郡山ノ内町      | 34箇所     | 32箇所    |            |        | 56箇所    | 53箇所        | 平成22年 3月29日 |     |
|           | 下高井郡木島平村      | 34箇所     | 34箇所    |            |        | 31箇所    | 31箇所        | 平成20年 3月27日 |     |
| 下高井郡野沢温泉村 | 1箇所           | 1箇所      |         |            | 1箇所    | 1箇所     | 平成21年 3月26日 | ※19         |     |
|           | 24箇所          | 23箇所     |         |            | 40箇所   | 31箇所    | 平成22年 3月29日 |             |     |
| 犀 川       | 大町市 (八坂)      | 15箇所     | 13箇所    |            |        | 140箇所   | 112箇所       | 平成19年 3月29日 |     |
|           | 安曇野市 (明科)     | 53箇所     | 45箇所    |            |        | 79箇所    | 76箇所        | 平成18年10月16日 |     |
|           | 北安曇郡池田町       | 49箇所     | 39箇所    |            |        | 176箇所   | 125箇所       | 平成22年 3月29日 | ※24 |
|           | 東筑摩郡麻績村       | 48箇所     | 39箇所    |            |        | 43箇所    | 43箇所        | 平成19年 3月29日 |     |
|           | 東筑摩郡生坂村       | 32箇所     | 30箇所    |            |        | 163箇所   | 120箇所       | 平成20年 9月29日 | ※14 |
| 姫 川       | 北安曇郡白馬村       | 79箇所     | 56箇所    |            |        |         |             | 平成16年12月 6日 |     |
|           |               |          |         |            |        | 166箇所   | 154箇所       | 平成17年12月26日 | ※6  |
|           |               |          | -1箇所    |            |        |         |             | 平成20年 6月26日 |     |
| 北安曇郡小谷村   |               |          |         |            | 1箇所    | 1箇所     | 平成22年 3月11日 |             |     |
|           | 66箇所          | 29箇所     |         |            | 221箇所  | 195箇所   | 平成18年11月30日 | ※7          |     |
| 土 尻 川     | 長野市 (小田切・七二会) | 7箇所      | 2箇所     |            |        | 209箇所   | 150箇所       | 平成19年 3月22日 |     |
|           | 長野市 (篠ノ井)     | 19箇所     | 8箇所     |            |        | 39箇所    | 30箇所        | 平成20年 6月19日 |     |
|           | 長野市 (信更)      | 27箇所     | 13箇所    |            |        | 109箇所   | 80箇所        | 平成20年 7月31日 |     |
|           | 大町市 (美麻)      | 35箇所     | 30箇所    |            |        | 163箇所   | 153箇所       | 平成17年12月26日 |     |
| 土 尻 川     |               |          |         | 48箇所       |        |         |             | 平成20年 3月31日 |     |
|           | 長野市 (信州新町)    | 6箇所      | 2箇所     |            |        | 146箇所   | 86箇所        | 平成19年 9月27日 |     |
|           |               | 2箇所      | 2箇所     |            |        | 56箇所    | 46箇所        | 平成20年 3月31日 |     |
|           |               | 13箇所     | 11箇所    |            |        | 73箇所    | 60箇所        | 平成20年 9月29日 |     |
|           |               | 21箇所     | 15箇所    |            |        | 170箇所   | 114箇所       | 平成22年 3月29日 |     |
|           | 上水内郡小川村       | 30箇所     | 30箇所    |            |        | 188箇所   | 142箇所       | 平成19年 3月29日 |     |
|           |               | 5箇所      | 5箇所     |            |        | 82箇所    | 68箇所        | 平成20年 3月24日 |     |
| 10箇所      |               | 10箇所     |         |            | 47箇所   | 42箇所    | 平成21年11月 5日 |             |     |
| 計         |               | 3,796箇所  | 3,136箇所 | 288箇所      | 0箇所    | 9,087箇所 | 7,707箇所     |             |     |
| 総 合 計     |               | 土砂災害警戒区域 |         | 土砂災害特別警戒区域 |        | 市 町 村 数 |             |             |     |
|           |               | 13,171箇所 |         | 10,843箇所   |        | 55市町村   |             |             |     |

※1 茅野市、下諏訪町及び辰野町の一部含む ※2 箕輪町及び南箕輪村の一部含む ※3 伊那市の一部含む ※4 駒ヶ根市の一部含む  
 ※5 長野市の一部含む ※6 小谷村の一部含む ※7 白馬村の一部含む ※8 塩尻市の一部含む ※9 辰野町の一部含む  
 ※10 飯綱町、飯山市の一部を含む ※11 高森町の一部を含む ※12 安曇野市の一部含む  
 ※13 箕輪町の一部を含む ※14 池田町の一部を含む ※15 千曲市の一部を含む ※16 下諏訪町の一部を含む  
 ※17 大町市の一部を含む ※18 中野市の一部を含む ※19 中野市及び山ノ内町の一部を含む  
 ※20 諏訪市、富士見町、原村の一部を含む ※21 飯島町の一部を含む ※22 諏訪市の一部を含む ※23 岡谷市の一部を含む  
 ※24 大町市、安曇野市の一部を含む

# 災害時要援護者をまもる砂防事業について

「平成21年7月中国・九州北部豪雨」においては、山口県および九州北部の各地で土砂災害が多発し、山口県防府市では特別養護老人ホームで7名の方が亡くなる痛ましい災害が発生しました。この災害では、自らの力で避難することができない災害時要援護者の被害が全体の8割を占めており、これらの方々を守るための土砂災害対策が大きな課題であることが改めて明らかとなりました。

県では、平成21年8月、市町村の皆様へ、災害時要援護者関連施設における土砂災害に係る警戒避難体制の強化を要請するとともに、土砂災害のおそれのある区域に立地する災害時要援護者関連施設の実態調査を実施し、その結果を平成22年2月8日公表しました。

## 1 調査結果

(平成22年2月8日現在) 単位：施設

| 区 分                                | 合 計 | 事 象 別 |      |         |
|------------------------------------|-----|-------|------|---------|
|                                    |     | 土石流   | 地すべり | 急傾斜地の崩壊 |
| 土砂災害のおそれのある災害時要援護者施設               | 474 | 336   | 64   | 145     |
| (A) 上記の内対策工事に着手した施設数               | 171 | 130   | 8    | 42      |
| (A)の内土砂災害警戒区域内に立地する施設数 (イエローゾーン内)  | 278 | 208   | 5    | 90      |
| (B) 上記の内対策工事に着手した施設数               | 126 | 105   | 1    | 28      |
| (B)の内土砂災害特別警戒区域内に立地する施設数 (レッドゾーン内) | 23  | 5     | —    | 18      |
| 上記の内対策工事に着手した施設数                   | 5   | 2     | —    | 3       |

この調査結果は、「災害時要援護者関連施設データベース」としてまとめ、関係機関と情報共有しています。

## 2 今後の対応

ハード・ソフトが一体となった総合的な土砂災害対策を進めます。

### 1) ハード対策の重点実施

- ① 災害時要援護者関連施設を保全する砂防事業等を主要事業に位置づけて重点的に実施します。
- ② 施設の立地状況等から保全計画を策定し、計画的な整備を図ります。
- ③ 土砂災害特別警戒区域内の施設は、準備の整った箇所から平成23年度までに対策に着手できるよう調整を図ります。

### 災害時要援護者関連施設、避難所、避難路を保全する砂防施設の整備

平成22年度末で土砂災害のおそれのある災害時要援護者施設（474施設）のうち、約4割の施設対策に着手します。

●予算額 165箇所 66億8,600万円

### 2) ソフト対策の推進

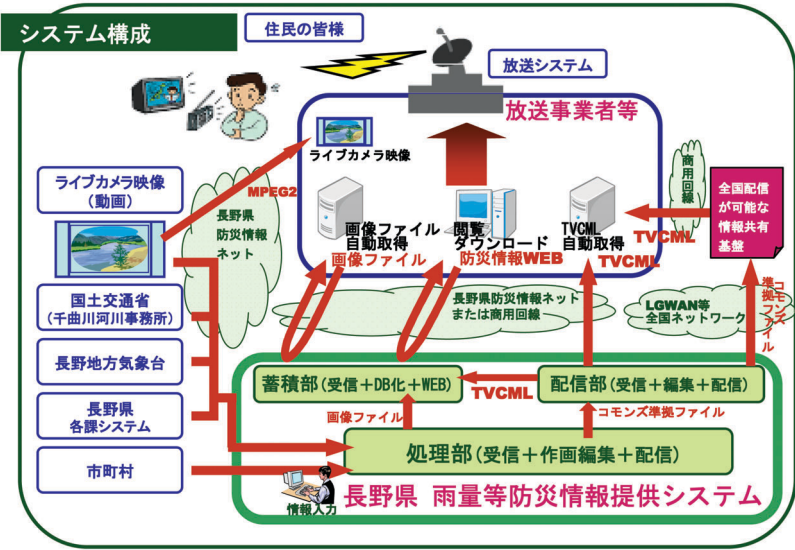
- ① 土砂災害のおそれのある災害時要援護者関連施設が立地する地区全てにおいて、今年度、土砂災害防止法の基礎調査に着手します。説明会の開催等、関係する市町村のご協力をお願いします。
- ② 市町村では、土砂災害ハザードマップ等印刷物の配布を行うなど、土砂災害警戒区域等の周知、警戒避難体制の整備をお願いします。
- ③ 県は、土砂災害警戒区域を「長野県統合型地理情報システム」に掲載し、県民の方々がインターネットで閲覧できるようにします。
- ④ 土砂災害警戒区域内の災害時要援護者関連施設における、土砂災害に関する情報伝達方法等「市町村地域防災計画」に定めていただくをお願いします。

現在も県内の土砂災害警戒区域の指定を進めているところです。指定の進捗に伴い、関連施設数も増加すると考えられます。「災害時要援護者関連施設データベース」についても見直しをしていきます。その際には、各市町村の皆様へ調査へのご協力をお願いいたします。

# 「長野県雨量等防災情報提供システム」について

「長野県雨量等防災情報システム」は、水防・土砂災害情報システムの統合や国土交通省データの活用などにより、雨量、土砂災害危険度、河川の水位情報、気象警報注意報、土砂災害警戒情報、水位周知河川情報などの「防災情報」を集約、一元化した上で、すぐれた情報伝達能力を有する放送事業者へ提供することにより、テレビ等を通じて住民の皆さんに迅速かつきめ細かい防災情報をお届けするためのシステムです。

この新たなシステムである「長野県雨量等防災情報システム」の基本設計がこのほどまとまりました。



防災情報の入手希望先としては、多くの方がテレビに期待しています。(平成22年3月26日に気象庁が発表した「新しい気象情報の利活用状況等に関するアンケート結果」では、80%以上の方がテレビのニュースや天気予報番組を土砂災害警戒情報などの入手先として希望)

砂防課では、平成21年度に県内の放送事業者5者、国土交通省直轄事務所、長野地方気象台、県関係各課による「長野県の河川・砂防に係る防災情報提供に関する技術検討会」を3回開催してシステムの検討を進め、平成22年3月、図に示すシステムの基本設計構成を取りまとめました。

平成22年度はシステム詳細設計を実施し、構築に入り、平成23年度での運用開始を目指します。

また、避難勧告情報等の市町村情報についても収集をおこない、情報提供していく構想です。

いつどこで起きるかわからない土砂災害から、住民の命を守るために必要な、避難を支える情報基盤として本システムが機能するよう整備を行ってまいります。

# 長野県政出前講座のお知らせ



長野県建設部砂防課では、「長野県の砂防」をテーマとして、会場まで職員が出向きお話をさせていただき、出前講座を実施しています。

平成22年4月16日には、(株)前田製作所様において約130名の社員の皆様に、砂防事業の現状と課題、砂防施設の効果、新工法、維持管理、砂防えん堤を利用した小水力発電などを説明・紹介する機会をいただきました。

砂防に関する出前講座のご要望がありましたら、

長野県建設部砂防課調査管理係  
**【TEL 026-235-7316】**

へお問い合わせ下さい。

## 平成22年4月 長野県建設部砂防課・人事異動

### ◎転 入

企画幹兼地すべり係長へ  
 野本 幸 男(会計局 検査課)  
 砂防課 総務係へ  
 北澤 信 之(福祉大学校介護センター)  
 砂防課 調査管理係へ  
 宮下 尚 子(こども・家庭福祉課)  
 砂防課 調査管理係へ  
 川上 忠 宏(姫川砂防事務所)  
 砂防課 砂防係担当係長へ  
 竹村 正(長野建設事務所)  
 砂防課 砂防係へ  
 西澤 賢(土尻川砂防事務所)  
 砂防課 地すべり係担当係長へ  
 柳澤 豊 茂(松本建設事務所)

### ◎転 出

下伊那南部建設事務所長へ  
 戸谷 勝 彦(砂防課 企画幹兼地すべり係長)  
 木曾地方事務所 地域政策課県民生活係担当係長へ  
 新倉 宏 志(砂防課 総務係)  
 長野地方事務所 地域政策課所付研修派遣:坂城町へ  
 下田 達 也(砂防課 調査管理係)  
 松本建設事務所 維持管理課 公園管理係長へ  
 玉川 博 之(砂防課 調査管理係)  
 上田建設事務所 維持管理課へ  
 下平 晃 稔(砂防課 砂防係)  
 飯田建設事務所 維持管理課へ  
 井原 一 馬(砂防課 砂防係)  
 北信建設事務所 整備課 計画調査係長へ  
 坂口 一 俊(砂防課 地すべり係担当係長)

## 行 事 経 過 ・ 予 定

22年

|          |                         |                   |
|----------|-------------------------|-------------------|
| 3月11～12日 | 第49回砂防および地すべり防止講習会      | 東京都:砂防会館別館1階      |
| 5月18日    | 全国治水砂防協会評議員会            | 東京都:砂防会館別館3階      |
| "        | " 賛助会員情報連絡会議            | 東京都:砂防会館別館3階      |
| 5月19日    | 第73回全国治水砂防協会総会          | 東京都:砂防会館別館1階      |
| "        | 長野県治水砂防協会砂防講演会          | 東京都:砂防会館別館3階      |
| 5月26～28日 | 砂防学会通常総会並びに研究発表会「長野大会」  | 長野市:若里市民文化ホール     |
| 6月1～30日  | 土砂災害防止月間                |                   |
| 6月3日     | 長野県砂防ボランティア協会、総会        | 長野市:トイーゴ          |
| 6月9～10日  | 平成22年度土砂災害防止推進の集い(全国大会) | 広島県:広島市文化交流会館     |
| 7月14日    | 長野県治水砂防協会監査・理事会         | 県 庁:議会棟3階第2会議室    |
| 7月21日    | 第72回長野県治水砂防協会通常総会       | 長野市:メトロポリタン長野3階   |
| 10月20日   | 第4回防災担当者のための土砂災害防止実務講習会 | 東京都:砂防会館別館1階      |
| 11月29日   | 全国治水砂防協会参与会             | 東京都:砂防会館別館3階      |
| "        | " 賛助会員情報連絡会議            | 東京都:砂防会館別館3階      |
| 11月30日   | 全国治水砂防促進大会              | 東京都:砂防会館別館1階      |
| "        | 県治水砂防協会要望活動             | 東京都:衆・参議員会館、国土交通省 |

### 長野県治水砂防協会 姫川支部からのお知らせ



この3月をもちまして、姫川支部を退職いたしました。砂防という言葉も知らずに入り、不安でいっぱいでしたが、皆様の助けをお借りしながら無事勤務する事が出来ました。思い出は平成7年の豪雨災害です。砂防事業の重要性和、まずは自分の命を守る事の大切さを改めて認識し、この災害を忘れることなく、これからの生活に活かしていきたいと思っております。

長期にわたり皆様方にお世話になり、有難うございました。藤原 里美



4月1日から姫川支部にお世話になっております。まだまだ、からないことばかりですが、精一杯頑張ります。これから、ご指導よろしくお願ひ致します。

村越 美樹

●第46号 編集・発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 長野県建設部砂防課内  
 TEL 026 (232) 0144 E-mail : n-sabo@sky.plala.or.jp